

Panasonic®

I.O.P.01・30シリーズ用画面作成ソフトウェア
DS-Tool (IOP01・30 Series)
インストールマニュアル

DS-Tool (IOP01・30 Series) インストールマニュアル
FAF-215① '97・4月

松下電工



はじめに

このたびは、DS-Tool(IOP01・30Series)をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

DS-Toolは、NEC PC98シリーズ／EPSON 286/386/486シリーズパソコンを使用して、弊社の操作表示パネル、I.O.P. 01・30シリーズの画面データを作成するための専用ソフトウェアです。

このマニュアルは、DS-Toolのハードディスクへのインストール方法、およびフロッピーディスクで使用するための実行ディスクの作成方法について解説しています。

なお、DS-Toolの操作方法につきましては、別冊の「DS-Tool (IOP01・30Series)操作マニュアル」をご覧ください。

●お願い

このマニュアルの内容に関しては万全を期しておりますが、ご不審な点や誤りなどお気づきの点がございましたらお手数ですが弊社までご連絡ください。

目次

はじめに	1
必ずご確認くださいこと	3
梱包一覧	3
保証について	4
ユーザーカードの登録について	5
関連マニュアルのご紹介	6
初めてご使用になる前にご注意いただきたいこと	7
インストール手順の概要	7
準備するもの	8
パソコンの設定について	9
日本語FEPについて	10

第1章 ハードディスクにインストールする場合 11

1-1 準備	12
1-2 ハードディスクへのインストール方法	13
1-3 DS-Toolの起動方法	16
1-4 データディスクの作成方法	19

第2章 フロッピーディスクで使用する場合 21

2-1 準備	22
2-2 実行ディスクの作成方法	23
2-3 データディスクの作成方法	29
2-4 DS-Toolの起動方法	32

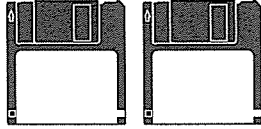
第3章 資料 35

3-1 商品ディスクの内容	36
3-2 CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATについて	37
3-3 Q&A インストール時のトラブル	38

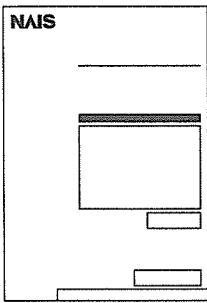
必ずご確認くださいこと

■梱包一覧

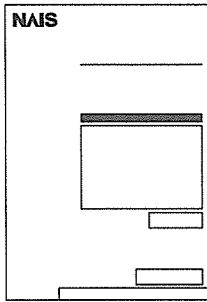
DS-Tool(IOP01・30Series)の梱包箱には、以下の商品が入っています。お使いいただく前に、お確かめください。



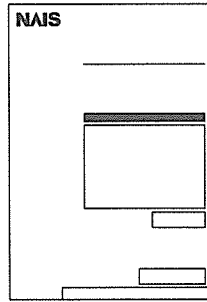
●DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク
(3.5インチ2HDディスク)
ディスク① × 1枚
ディスク② × 1枚



●マニュアル
DS-Tool(IOP01・30Series)インストールマニュアル
(このマニュアルです。) × 1冊



DS-Tool(IOP01・30Series)操作マニュアル
〈I.O.P01シリーズ用〉 × 1冊



DS-Tool(IOP01・30Series)操作マニュアル
〈I.O.P30シリーズ用〉 × 1冊

<p>●お客様へのお断り このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。 ※「マニュアルの修正」により、下記ソフトウェア使用時の動作が変更されることがあります。ご購入の際は、ユーザーカードに必要事項をご記入の上ご高用ください。</p> <p>ソフトウェア使用約款 以下の事項は、当社工業株式会社（以下、当社という）が、本契約に基づき、ご採用いただくソフトウェア（以下、ソフトウェアという）の使用に関するものです。 1. このソフトウェアは、当社が所有しているソフトウェアの一部として扱われます。 2. 本ソフトウェアは、当社の書面による事前の承諾を得なければ、第三者に譲渡することを禁じます。 3. このソフトウェアは、本契約に基づき、提供されます。ただし、当社がソフトウェアの使用を可能にする多量なデータを保有する場合があります。かつ、ソフトウェアのインストール・アップロードの過程に個人データを保有する場合があります。ただし、保有されたソフトウェアの使用による発生した結果については、当社は責任を負いません。 4. 当社は、ユーザーカードの提供、本契約に基づきソフトウェアの使用に関するお問い合わせや相談を受けることには同意しますが、ソフトウェアに関するお問い合わせは上記のみとし、第三者ソフトウェアの使用による結果に責任を負いません。当社は一切の責任を負いません。以上</p> <p>ソフトウェアの 名 称 AFP バージョン</p>	<p>ユーザーカード 本製品のソフトウェア使用約款に同意する旨を、このユーザーカードに記載いたします。</p> <table border="1"> <tr> <td>姓 名</td> <td>TEL</td> </tr> <tr> <td>職 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会社名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>住 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>TEL</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 信 区 画 番</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 信 番 号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メールアドレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名 称</td> <td>AFP</td> </tr> <tr> <td>バージョン</td> <td></td> </tr> </table> <p>この形式に必要事項をご記入の上、ご高用ください。ご高用の際は、必ずユーザーカードを封入してください。</p>	姓 名	TEL	職 名		会社名		住 所		TEL		FAX		電 信 区 画 番		電 信 番 号		メールアドレス		名 称	AFP	バージョン	
姓 名	TEL																						
職 名																							
会社名																							
住 所																							
TEL																							
FAX																							
電 信 区 画 番																							
電 信 番 号																							
メールアドレス																							
名 称	AFP																						
バージョン																							

●はがき
ユーザーカード (はがき) × 1枚

梱包には、万全を期していますが、万一不良品、破損品がありましたら、販売代理店または各営業所までご連絡ください。

■保証について

保証期間：この製品についての保証期間は、納入後1ヵ年といたします。

保証範囲：保証期間中に納入者側の責任により故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または修理を納入者側により無償で行います。ただし、次に該当する場合は、この保証の内容の対象範囲から除外させていただきます。

- (1) マニュアルと異なった取り扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (3) 納入者以外の改造、または修理による場合。
- (4) その他、天災・災害など、納入者側の責任ではない場合。

■ユーザーカードの登録について

梱包されているユーザーカードは、DS-Toolのユーザーとしてご登録いただくためのものです。今後すべてのサービスおよびご連絡は、このユーザーカードをもとに実施させていただきます。よくお読みになり、必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。

ユーザーカード

ユーザーカード	
本製品の「ソフトウェア使用約款」に同意するとともに、ここにユーザーカードを送付いたします。	
(フリガナ) 貴社住所	お客様によりご記入ください。 TEL. ()
(フリガナ) 貴社名	お客様によりご記入ください。
(フリガナ) 氏名	お客様によりご記入ください。 印
所属部署	お客様によりご記入ください。 (役職)
購入日	お客様によりご記入ください。
ソフトウェアの名称	お客様によりご記入ください。
品番	A I P 弊社にて記入済
ロットNo.	弊社にて記入済
このはがきに必要事項をご記入のうえ、ご返送いただいたお客様に対し、弊社では「ソフトウェア使用約款」によりアフターサービスを行いますので、必ずご投函くださいますようお願いいたします。	

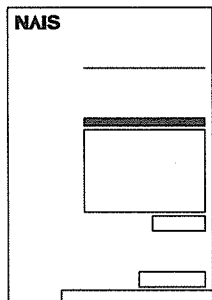
■関連マニュアルのご紹介

DS-Tool及び、I.O.Pシリーズに関しては、このインストールマニュアルを含め、次のマニュアルを用意しています。

I.O.P.01シリーズに関するマニュアル

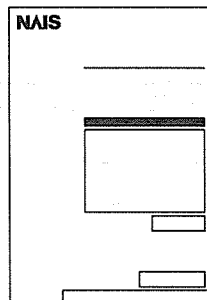
本製品のご使用に際して、併せて下記マニュアルをご参照くださいますようお願い申し上げます。

I.O.P.01シリーズ
導入マニュアル
(FAF-202)



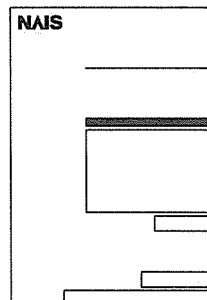
I.O.P.01シリーズの特長、機能、導入手順について説明しています。

※DS-Tool(IOP01Series)
操作マニュアル
<I.O.P.01シリーズ用>
(FAF-208)



専用作画・転送ソフトDS-Toolの操作方法について説明しています。

I.O.P.01シリーズ
プログラミング
マニュアル
<PC接続編>
(FAF-198)

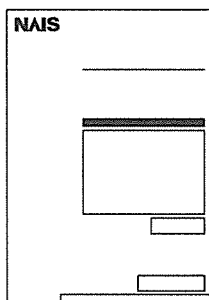


PC側のプログラムによりI.O.P.を制御する方法について説明しています。

I.O.P.30シリーズに関するマニュアル

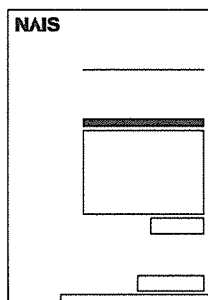
本製品のご使用に際して、併せて下記マニュアルをご参照くださいますようお願い申し上げます。

I.O.P.M30シリーズ
導入マニュアル
(FAF-219)



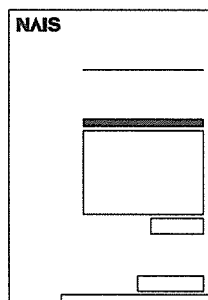
I.O.P.M30シリーズの特長、機能、導入手順について説明しています。

I.O.P.D30・B30シリーズ
導入マニュアル
(FAF-218)



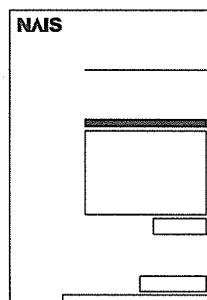
I.O.P.D30・B30シリーズの特長、機能、導入手順について説明しています。

※DS-Tool(IOP30Series)
操作マニュアル
<I.O.P.30シリーズ用>
(FAF-214)



専用作画・転送ソフトDS-Toolの操作方法について説明しています。

I.O.P.30シリーズ
プログラミング
マニュアル
<PC接続編>
(FAF-217)



PC側のプログラムによりI.O.P.を制御する方法について説明しています。

注) ※印の付いたマニュアルは本製品に同梱されています。

マニュアルのみのご注文につきましては、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

初めてご使用になる前に ご注意ください

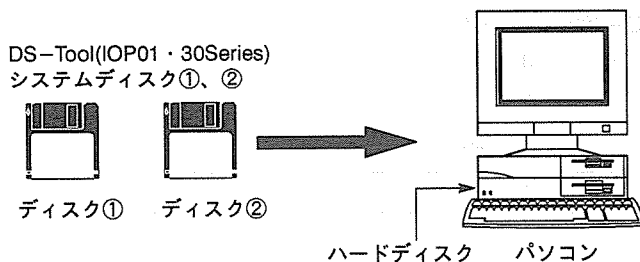
ご注意

■インストール手順の概要

DS-Tool (IOP01・30Series)には、ハードディスクにインストールして使用する方法と、フロッピーディスクにインストールし、実行ディスクとして使用する方法の2通りがあります。

●ハードディスクにインストールする場合 (➡詳しくは12ページからお読みください。)

DS-Tool (IOP01・30Series)システムディスクの内容を、お手持ちのハードディスクにコピーします。日本語を入力する際に必要となる日本語FEPは、お手持ちのハードディスクにインストール済みのもの(ワードプロセッサ等のアプリケーションソフトで使用中的のもの)をそのまま使用します。



注意

ハードディスクにはMS-DOSがインストールされていることが条件です。作成した画面データの保存は、ハードディスク上、またはフロッピーディスクのどちらでも構いません。

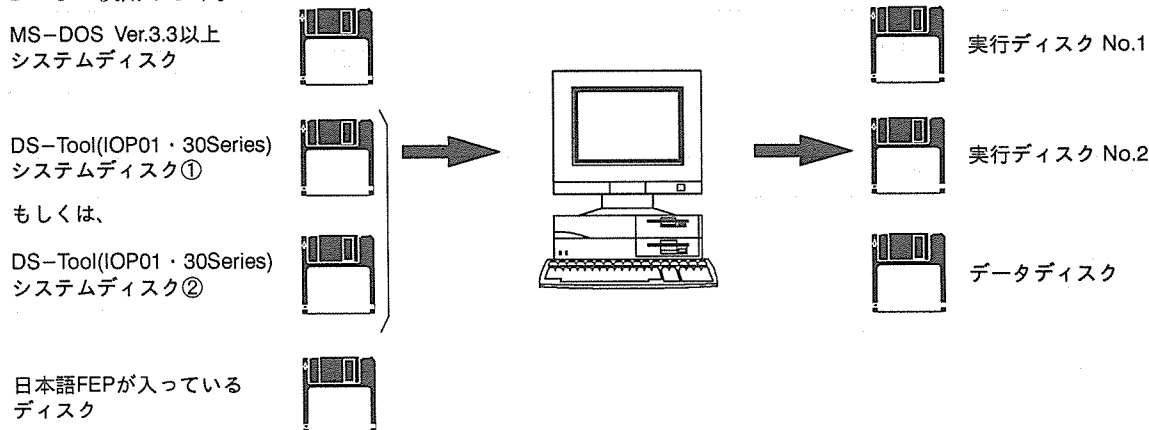
●フロッピーディスクで使用する場合 (➡詳しくは22ページからお読みください。)

DS-Toolをフロッピーディスクで使用する場合、画面を作成するI.O.Pの機種に合わせて、システムディスク①、ディスク②のいずれかのディスクを選んで使用します。

I.O.Pの機種	DS-Toolのシステムディスク
I.O.PB01C I.O.PM01L I.O.PD01TL	ディスク①
I.O.PB30TC I.O.PM30TC・M30C I.O.PD30TC	ディスク②

DS-ToolはMS-DOS上で動作するアプリケーションです。従いましてDS-Toolのシステムディスク①もしくは②だけではDS-Toolを使用することができません。以下の作業が必要になります。

1. 未使用のフロッピーディスクに、選択したDS-Toolのシステムディスクの内容と、MS-DOSのシステムディスクの内容の一部をコピーし、実行用のディスク(2枚)を作成します。
2. 作成した画面データを保存するデータディスクを作成します。また、日本語を入力する際に必要となる日本語FEPは、NECDIC、ATOK7、ATOK7Sのいずれかのシステムをこのデータディスクにコピーして使用します。



注意

本商品には、MS-DOSのシステムは含まれていません。日本電気(株)製の日本語MS-DOSシステムディスク (Ver.3.3以上)をお客様でご用意ください。また、本商品には日本語FEPのシステムは含まれていません。NECDIC、ATOK7、ATOK7Sのいずれかのシステムディスクをお客様でご用意ください。

■準備するもの

DS-Toolを使ってI.O.Pシリーズの画面を作成いただくために、次のものがが必要です。

●パソコン

メーカー名	機種名
日本電気(株)	PC-9801シリーズ PC-9821シリーズ *初代PC9801、PC9801E/F/U2、PC9801XA、 PC9801LTは使用できません。 *PC9801M/VF/VM/UVは、メモリの増設が必要です (640KB実装)
セイコーエプソン(株)	PC286/386/486シリーズ

注意

DS-Toolはノーマルモード専用ソフトですので、一部機種(PC-98XL/XL2など)をハイレゾリューションモードで使用することはできません。ノーマルモードに設定して使用してください。

●MS-DOSシステムディスク

DS-Toolは、MS-DOS上で動作するアプリケーションソフトです。次のバージョンのMS-DOSシステムディスクが必要になりますので、お客様にてご用意ください。

(本製品にはMS-DOSシステムディスクは含まれておりません。)

メーカー名	機種名
日本電気(株)	日本語MS-DOS Ver.3.3/A/B/C/D Ver.5.0/A

注意

MS-DOSのシステムディスクは、必ず運用ディスクを作成してお使いください。

●パソコンのハードディスク/フロッピーディスクドライブ

インストール方法	必要なディスクドライブ	
	ハードディスク	フロッピーディスク
ハードディスクにインストールする場合	1台以上 (空き容量3Mバイト以上)	1台以上
フロッピーディスクで使用する場合	—	2台以上

注意

ハードディスクにインストールされる場合は、あらかじめMS-DOSのシステムがインストールされている必要があります。新しいハードディスクの場合は、上記のMS-DOSのシステムディスクを使用して初期化、領域確保、システム転送を行ってください。

●パソコンのメモリ

メモリ	使用サイズ
メインメモリ	必要量420Kバイト
EMS(LIM Ver.4.0以上対応の拡張メモリ)	DS-Toolが必要量を確保します (DS-ToolはEMSがない場合も動作します)

注意

EMSのドライバは必ず、MS-DOSに付属のものをお使いください。

●プリンタ

作画内容を印刷するには、PC-PR201コードまたはESC/Pコードに対応しているプリンタが使用できます。市販のパソコン用プリンタのほとんどはどちらかのコードに対応していますので、お手持ちのプリンタの対応コードをお確かめください。

●画面転送ケーブル

DS-Toolで作成した画面データをI.O.P.に転送するためのケーブルです。I.O.P.の機種に合わせて、以下のものをご用意ください。

I.O.P.機種	専用ケーブルご注文品番
I.O.P.D01TL・M01L・ I.O.P.D30TC・M30TC・M30C	AFP85813(3m)
I.O.P.B01C・ I.O.P.B30TC	AIB81002(2m)

注意

上記ケーブルは、パソコンのRS232CポートがD-SUB25ピンコネクタの場合です。D-SUBハーフピッチ14ピンの場合は、市販の変換アダプタを併用してください。

ケーブルを自作される場合は、「I.O.P01シリーズ導入マニュアル」「I.O.PD30・B30シリーズ導入マニュアル」「I.O.PM30シリーズ導入マニュアル」をお読みください。

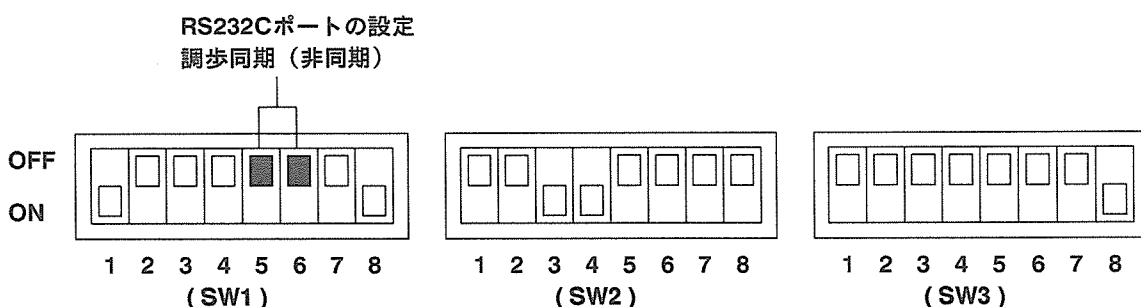
■パソコンの設定について

●ディップスイッチによるRS232Cポートの設定

DS-Toolで作成した画面データをI.O.P.に転送する際に、パソコンのRS232Cポートを使用します。RS232Cポートが使用できるように、パソコンのディップスイッチ・SW1-5・6をOFFに設定してください。

注意

パソコンの機種によりディップスイッチをソフトウェアで設定する場合があります。詳細については、パソコン付属のガイドブック、マニュアルをお読みください。



■日本語FEPについて

DS-ToolでI.O.P.の画面を作成する際、日本語を入力するには日本語FEP（フロント・エンド・プロセッサ）と呼ばれる日本語入力システムが必要です。DS-Toolをインストールされる方法に合わせて、以下の日本語FEPをご用意ください。

●使用できる日本語FEP

	使用できる日本語FEP
ハードディスクにインストールする場合	ワードプロセッサ等のアプリケーションソフトで従来使用していた日本語FEP（ハードディスクにインストール済みのもの）をそのまま使用します。
フロッピーディスクで使用する場合	実行ディスク作成時に、使用する日本語FEPをNECDIC、ATOK7、ATOK7Sの中から選択します。

●フロッピーディスクで使用する場合に必要となる日本語FEPとファイル

注意

DS-Toolをフロッピーディスクで使用する場合には、以下のいずれかのデバイスドライバおよび辞書が入ったフロッピーディスク（ワードプロセッサ等アプリケーションソフトの実行ディスク）を別途ご用意ください。なお、以下のデバイスドライバおよび辞書はデータディスク上にコピーされます。

日本語FEP	デバイスドライバファイル	辞書ファイル
NECDICを使用する場合	NECDIC.DRV	NECDIC.SYS
ATOK7を使用する場合	ATOK7A.SYS ATOK7B.SYS	ATOK7.DIC (ATOK7S.DIC)
ATOK7Sを使用する場合	ATOK7AS.SYS ATOK7BS.SYS	ATOK7S.DIC

1章

ハードディスク にインストール する場合

準備

ハードディス
クへのインス
トール方法

DS-Toolの
起動方法

データディス
クの作成方法

1. 準備 12

2. ハードディスクへのインストール方法 13

3. DS-Toolの起動方法 16

4. データディスクの作成方法 19

ハードディスク
にインストール
する場合

準備

ハードディス
クへのインス
トール方法

DS-Toolの
起動方法

データディス
クの作成方法

この章では、DS-Toolをお手持ちのハードディスクにインストールする方法を説明します。ここでは、お手持ちのハードディスクにMS-DOS (Ver.3.3以上) のシステムがすでにインストールされているものとし、日本語FEPは、ワープロなどのアプリケーションソフトで、すでに組み込まれているものを使用するものとします。ハードディスクにMS-DOSや日本語FEPがインストールされていない場合は、それぞれのマニュアルをお読みになり、先にインストールを行ってください。

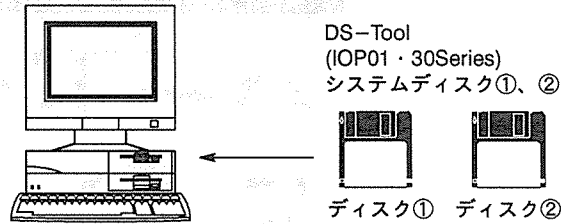
■用意するもの

- ・ DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク①、②
- ・ 未使用のフロッピーディスク 1枚
(画面データをフロッピーで保存する場合に使用します。)

注意

- ・ DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク①、②は、バックアップしたものをご使用になれるようおすすめいたします。
- ・ プロテクトは必ず外した状態でお使いください。

■作業の流れ



ハードディスクへのインストール作業の流れ

まず、DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク①の内容をハードディスクにコピーします。

次に、DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク②の内容をハードディスクにコピーします。

ハードディスクへの
インストール完了

画面データをハード
ディスクに保存する
場合は、

そのままDS-Toolを
起動します。

画面データをフロッ
ピーで保存する場
合は、

画面データ保存用の
データディスクを
作成します。

未使用のフロッピー
ディスクのフォー
マットを行います。

データディスク完成

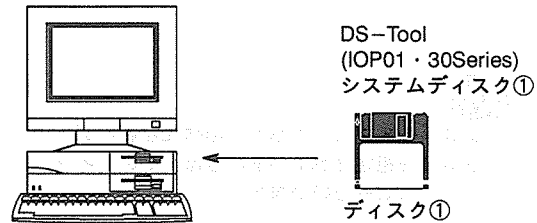
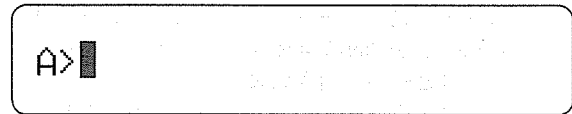
DS-Toolを起動します。

1-2 ハードディスクへのインストール方法

1章

ハードディスク
にインストール
する場合

- ①パソコンを起動し、アプリケーションまたはメニューを終了させ、MS-DOSのプロンプト「A>」が表示されるのを確認してください。
- ②フロッピーディスクドライブにDS-Tool(IOP01・30Series)のシステムディスク①を入れてください。



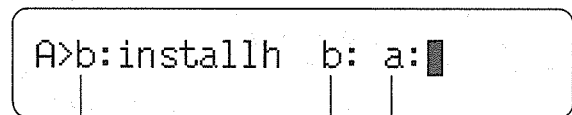
準備

ハードディスク
へのインス
トール方法

DS-Toolの
起動方法

データディスク
の作成方法

- ③インストールプログラムを実行します。
ハードディスクがドライブA、フロッピーディスクがドライブBの場合、右のように入力して キーを押してください。



DS-Toolのディスクが挿入されているドライブ名

インストール先ハードディスクのドライブ名

参考

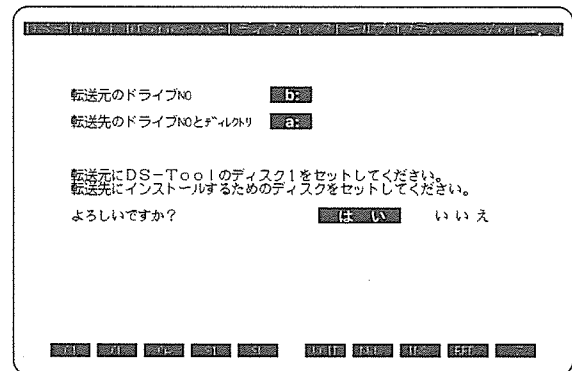
あらかじめ、ハードディスク内に作成されているディレクトリを指定してインストールすることもできます。(1階層まで)

次のように入力してください。

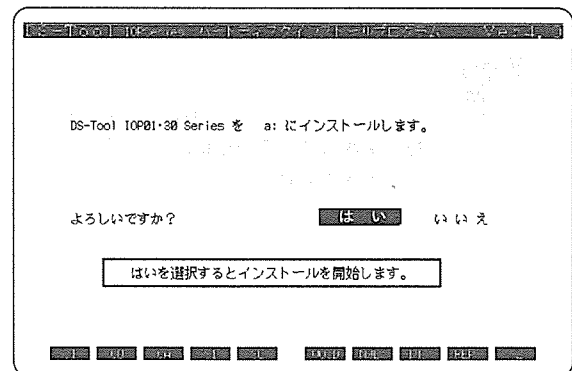
A>b:installh b: a:¥××××

すでにハードディスク内に作成されているディレクトリ名

- ④ハードディスクインストールプログラムの画面が表示されます。
表示の通りインストールしても良ければ、「はい」を選択してください。
(キーと キーで選択します。)



- ⑤確認メッセージの画面が表示されます。
表示の通りインストールしても良ければ、「はい」を選択してください。
(キーと キーで選択します。)



1章

ハードディスク
にインストール
する場合

準備

ハードディス
クへのインス
トール方法

DS-Toolの
起動方法

データディス
クの作成方法

- ⑥インストール先のハードディスクにディレクトリ ¥DSTOOL を自動的に作成し、システムディスク①の内容のコピーが開始されます。画面表示は右のようになりますので、そのまま、しばらくお待ちください。

注意

- ・インストール先に、あらかじめ作成されたディレクトリを指定されている場合は、そのディレクトリにコピーを行います。

ディレクトリ (a:¥DSTOOL) を作成中
ディレクトリ (a:¥DSTOOL) に DS-Tool のディスク1 をインストールします。
DS01S.EXE を複製しています。
PRND01.EXE を複製しています。
SNDD01.EXE を複製しています。

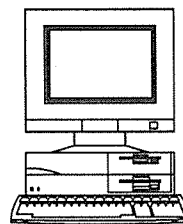
ESC F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

- ⑦システムディスク①の内容のコピーが終了すると、右のような画面が表示されます。現在ドライブBに入っているシステムディスク①を取り出し、システムディスク②に入れ替えてから、任意のキーを押してください。

転送元にDS-Toolのディスク2をセットしてください。

準備ができたらどれかキーを押してください...

ESC F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12



DS-Tool
(IOP01・30Series)
システムディスク②



ディスク②

- ⑧ハードディスクのディレクトリ ¥DSTOOL に、システムディスク②の内容のコピーが開始されます。画面表示は右のようになりますので、そのまま、しばらくお待ちください。

注意

- ・インストール先に、あらかじめ作成されたディレクトリを指定されている場合は、そのディレクトリにコピーを行います。

DS-Tool のディスク2をインストールします。
PRNOUT.EXE を複製しています。
SEND.EXE を複製しています。
DS20S.EXE を複製しています。
PRNST.EXE を複製しています。
PLUNC.3.DAT を複製しています。

⑨システムディスク②の内容のコピーが終了すると、右のような画面が表示されます。
フロッピーディスクドライブにシステムディスク②を挿入したまま、任意のキーを押してください。

```
DS-Tool: 作業ソフトのインストールは終了しました。  
DS-Tool: 作業ソフトを起動するときは次の手順におこなってください。  
インストール先ドライブ名  
CD インストール先ディレクトリ名 (指定していない時は DSTOOL)  
DSTL
```

詳しい操作については、マニュアルを参照してください。

準備ができたらどれかキーを押してください。 . . .

ESC F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

MS-DOSのプロンプト「A>」が表示されますので、フロッピーディスクドライブから、システムディスク②を取り出してください。
以上で、ハードディスクへのインストールは終了です。右のような画面が表示されますので、

- DS-Tool を起動する場合 P 1 5
- 画面データ保存用のデータディスクを作成する場合 P 1 7

を続けてお読みください。

```
A>|
```

準備

ハードディスク
へのインス
トール方法

DS-Toolの
起動方法

データディスク
の作成方法

1章

1-3 DS-Toolの起動方法

ハードディスク
にインストール
する場合

準備

ハードディス
クへのインス
トール方法

DS-Toolの
起動方法


データディス
クの作成方法

ハードディスク上でDS-Toolを起動する方法について説明します。

①パソコンを起動し、アプリケーションまたはメニューを終了させてください。

②画面に「A>」のMS-DOSプロンプトが表示されるのを確認してください。

A>|

③「CD ¥DSTOOL」とキーボードから入力し、を押してください。

A>CD ¥DSTOOL|


DS-Toolがインストールされているディレクトリ

注意

インストール先に、あらかじめハードディスク上に作成されたディレクトリを指定されている場合は、そのディレクトリ名を指定してください。

例：A>CD ¥×××××

ディレクトリ名

④続けて「DSTL」とキーボードから入力し、を押してください。

A>DSTL|

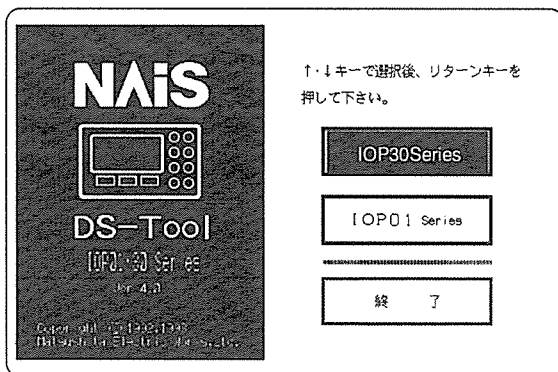
DS-Toolの起動コマンド
(ハードディスクの場合)

⑤DS-Tool (IOP01・30Series)の起動画面が表示されます。お使いになるI.O.P.の機種に合わせて、「IOP30Series」、「IOP01Series」のいずれかを選択してください。

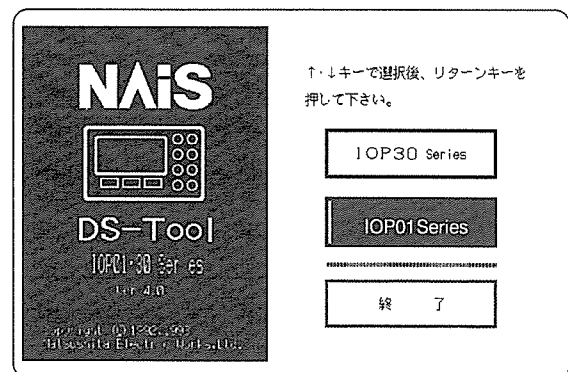
I.O.P.の機種	DS-Toolの起動メニュー選択
I.O.PD30TC I.O.PM30TC・M30C I.O.PB30TC	IOP30Series
I.O.PD01TL I.O.PM01L I.O.PB01C	IOP01Series

(  キーと  キーで選択します。)

(IOP30Seriesの場合)



(IOP01Seriesの場合)



- ⑥システム制御設定の画面が表示されますので、各項目を入力してから **[F1]** キーを押して登録してください。

(IOP30Seriesの場合)

システム制御設定

データドライブ [B: (C:*) (D:*) (E:*)]

外字ドライブ [A:]

作業ドライブ [A:]

画面モード [カラー 白黒]

入力モード [松下 三菱 オムロン 日立 パナダック 東芝 (T)]
[CCU] (E-T170)

プリンター機種 [ESC/P PR201]
ネットポートタイプ [使用 未使用]

カーソルキーで選択して下さい。

[登録] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10] [F1]

(IOP01Seriesの場合)

システム制御設定

データドライブ [B: (C:*) (D:*) (E:*)]

外字ドライブ [A:]

作業ドライブ [A:]

画面モード [カラー 白黒]

入力モード [松下 三菱 オムロン]
[CCU]

通信設定 [9600 19200] tps

プリンター機種 [ESC/P PR201]
ネットポートタイプ [使用 未使用]

画面設定 [10x4 10x3 8x3]

カーソルキーで選択して下さい。

[登録] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10] [F1]

(詳しい設定方法については、それぞれに対応した操作マニュアルをご参照ください)

- ⑦確認のメッセージが表示されますので、「Yes」を選択してください。

登録してもよろしいですか? [Yes] No

- ⑧ファイル指定メニューが表示されます。初めてDS-Toolを起動した場合は、必ず「新規ファイルの作成」を選択してください。

(**[↓]** **[↑]** キーと **[↵]** キーで選択します。)

ファイルの指定

1. 新規ファイルの作成

2. 既存ファイルの編集

カーソルキーで選択して下さい。

[登録] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10] [F1]

- ⑨システムエリア設定の画面が表示されますので、各項目を入力してから **[F1]** キーを押して登録してください。

(IOP30Seriesの場合)

システムエリア設定

松下CCU
参照データエリア (PC → I.O.P.)

出力優先リレー (I.O.P. → PC)

DT 0000 システム領域 [3 ワード]

DT 0003 タグビット領域 [0-61 ワード]

DT 0010 タグ領域 [0-512 ワード]

DT 0019

WR 0000 システム領域 [1 ワード]

WR 0001 [0-63 ワード]

WR 0004

数値を入力して下さい。カーソルキーで入力項目が移ります。

[登録] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10] [F1]

(IOP01Seriesの場合)

システムエリア設定

松下CCU
参照データエリア (PC → I.O.P.)

出力優先リレー (I.O.P. → PC)

DT 0001 システム領域 [2 ワード]

DT 0002 タグビット領域 [0-126 ワード]

DT 0009 タグ領域 [0-126 ワード]

DT 0018

WR 0000 システム領域 [2 ワード]

WR 0002 [0-30 ワード]

WR 0004

数値を入力して下さい。カーソルキーで入力項目が移ります。

[登録] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10] [F1]

(詳しい設定方法については、それぞれに対応した操作マニュアルをご参照ください)

準備

ハードディスク
へのインス
トール方法

DS-Toolの
起動方法

データディス
クの作成方法

1章

ハードディスクに
インストール
する場合

準備

ハードディス
クへのインス
トール方法

DS-Toolの
起動方法

データディス
クの作成方法

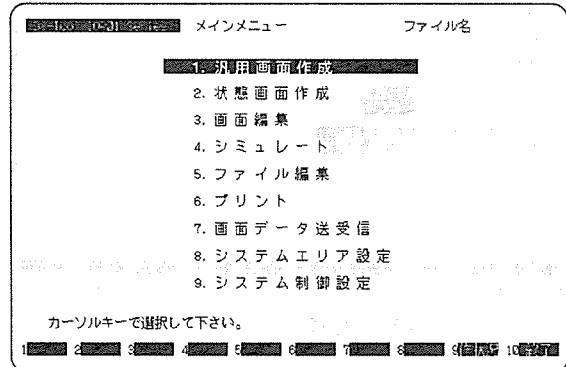
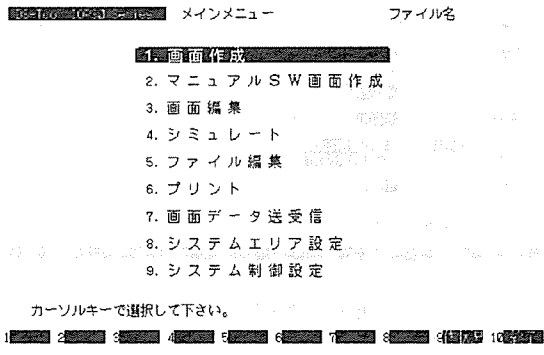
⑩確認のメッセージが表示されますので、「Yes」を選択してください。

登録してもよろしいですか? Yes No

⑪DS-Toolのメインメニューが表示されます。

(IOP30Seriesの場合)

(IOP01Seriesの場合)



1-4 データディスクの作成方法

1章

ハードディスク
にインストール
する場合

DS-Toolで作成したI.O.P.の画面データは、ハードディスク上に作成したディレクトリ、またはフロッピーディスクに保存します。フロッピーディスクに保存する場合は、未使用のフロッピーディスクを初期化した（データを書き込める状態にした）ものを使用します。このデータ保存用のフロッピーディスクをデータディスクといい、以下にその作成手順を説明します。

- ①パソコンが起動し、アプリケーションまたはメニューを終了させてください。
- ②MS-DOSのプロンプト「A>」が表示されているのを確認してから、フロッピーディスクドライブに未使用のフロッピーディスクを挿入してください。

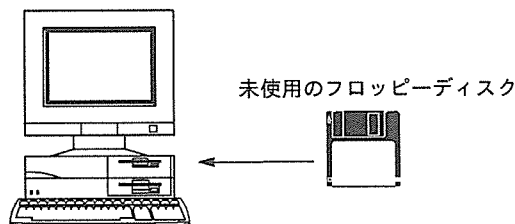
準備

ハードディスク
へのインス
トール方法

DS-Toolの
起動方法

データディスク
の作成方法

```
A> |
```



- ③フロッピーディスクドライブがドライブBの場合、右のように入力してください。

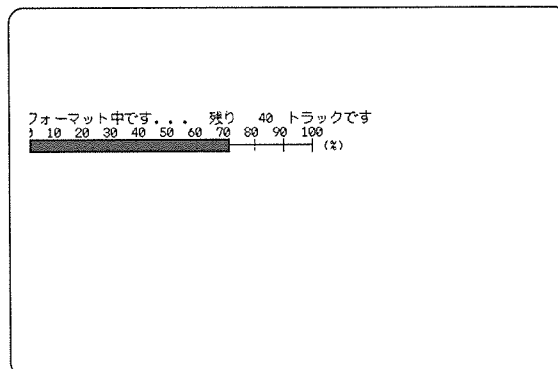
```
A>FORMAT B: /M/P
```

未使用のフロッピーディスク
が挿入されているドライブ名

注意

ディスクドライブ名は、実際にフロッピーディスクが挿入されているディスクドライブ名に変更してください。

- ④未使用フロッピーディスク（ドライブB）のフォーマット（初期化）が開始されます。画面表示は右のようになりますので、そのまま、しばらくお待ちください。



- ⑤初期化が終了したら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。このフロッピーディスクに、DS-Toolで作成したI.O.P.の画面データが格納できます。他のフロッピーディスクと間違わないよう、ラベルを貼り付けてください。

ラベル記述例： [DS-Toolデータディスク]

東京放物線とスライム

東京放物線
スライム

東京放物線は、東京の放物線を描く。スライムは、スライムを描く。東京放物線は、東京の放物線を描く。スライムは、スライムを描く。東京放物線は、東京の放物線を描く。スライムは、スライムを描く。

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

東京放物線
スライム

2章

フロッピー ディスクで使用 する場合

準備

実行ディスク
の作成方法

データディスク
の作成方法

DS-Toolの
起動方法

1. 準備	22
2. 実行ディスクの作成方法	23
3. データディスクの作成方法	29
4. DS-Toolの起動方法	32

フロッピー
ディスクで使用
する場合

準備

実行ディスク
の作成方法

データディスク
の作成方法

DS-Toolの
起動方法

DS-Toolをフロッピーディスクで使用方法について説明します。

DS-Toolをフロッピーディスクで使用する場合、画面を作成するI.O.P.の機種に合わせて、システムディスク①、ディスク②のいずれかのディスクを選んで使用します。

I.O.P.の機種	DS-Toolのシステムディスク
● I.O.P.01シリーズ I.O.PB 01C I.O.PM01L I.O.PD 01TL	ディスク①
● I.O.P.30シリーズ I.O.PB 30TC I.O.PM30TC・M30C I.O.PD 30TC	ディスク②

また、DS-ToolはMS-DOS上で動作するアプリケーションです。従いましてDS-Toolのシステムディスク①もしくは②だけではDS-Toolを使用することができません。以下の作業が必要になります。

1. 選択したDS-Toolのシステムディスクの内容と、MS-DOSのシステムディスクの内容の一部を、未使用のフロッピーディスク2枚にコピーし、実行用のディスクNo.1、No.2を作成します。
2. 作成した画面データを保存するデータディスクを作成します。
また、日本語を入力する際に必要となる日本語FEPは、NECDIC、ATOK7、ATOK7Sのいずれかのシステムをこのデータディスクにコピーして使用します。

■用意するもの

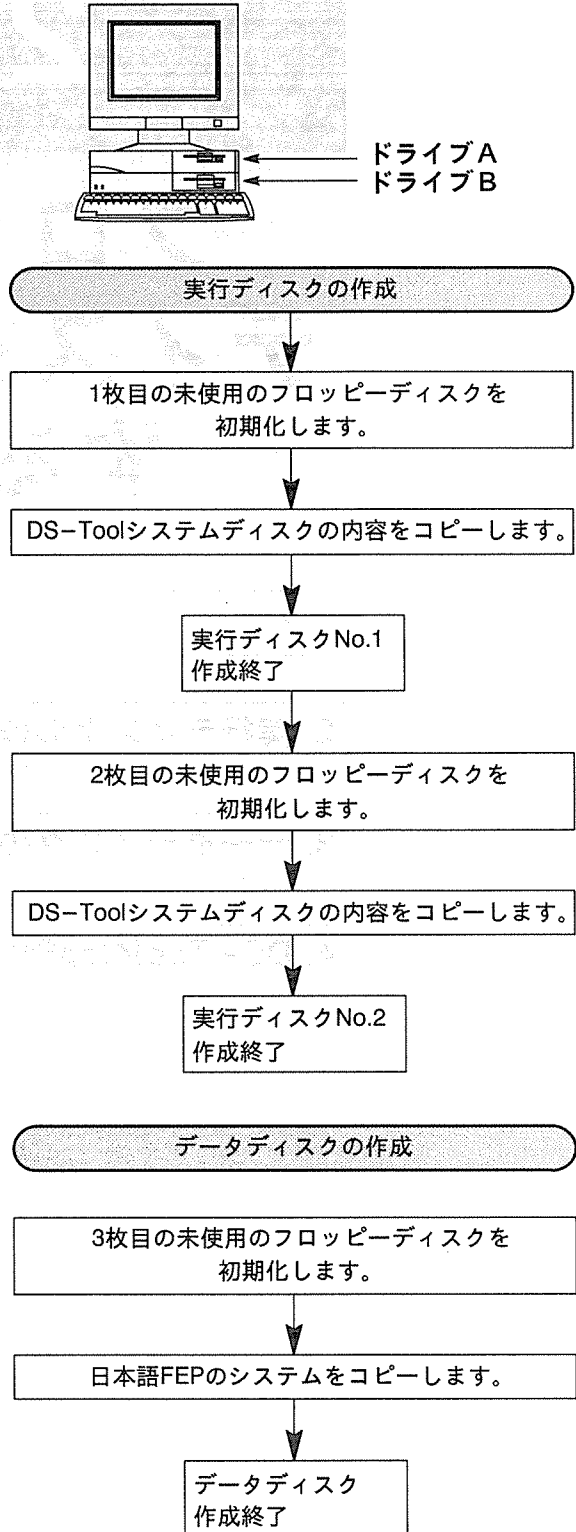
●I.O.P.01シリーズ用（システムディスク①）の実行ディスクを作成する場合

1. DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク①
2. MS-DOSのシステムディスク（Ver.3.3以上）
3. 未使用のフロッピーディスク（2HDタイプ）3枚
4. 日本語FEPのシステムの入ったディスク（NECDIC、ATOK7、ATOK7Sのいずれか）

●I.O.P.30シリーズ用（システムディスク②）の実行ディスクを作成する場合

1. DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク②
2. MS-DOSのシステムディスク（Ver.3.3以上）
3. 未使用のフロッピーディスク（2HDタイプ）3枚
4. 日本語FEPのシステムの入ったディスク（NECDIC、ATOK7、ATOK7Sのいずれか）

■作業の流れ



注意

・DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク①、②、およびMS-DOSのシステムディスクは、バックアップしたものをご使用になられるようおすすめいたします。また、これらのディスクは、必ずプロテクトを外してお使いください。

2-2 実行ディスクの作成方法

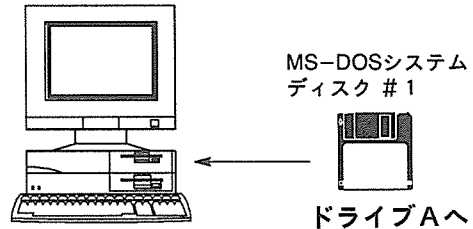
2章

フロッピー
ディスクで使用
する場合

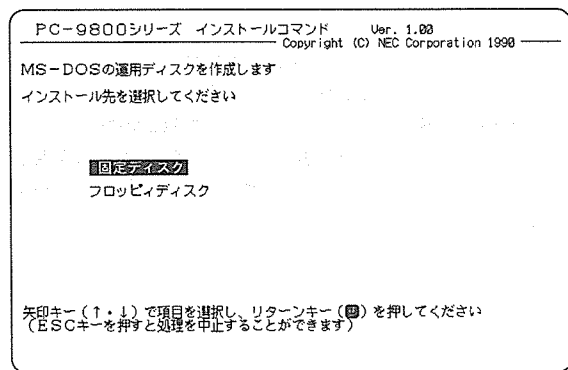
以下では、DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク①を使用して、I.O.P.01シリーズ用の実行ディスク(No.1、No.2)を作成する手順について説明します。

I.O.P.30シリーズ用(システムディスク②)の実行ディスクを作成する場合は、DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク①の代わりに、DS-Tool(IOP01・30Series)システムディスク②を使用してください。

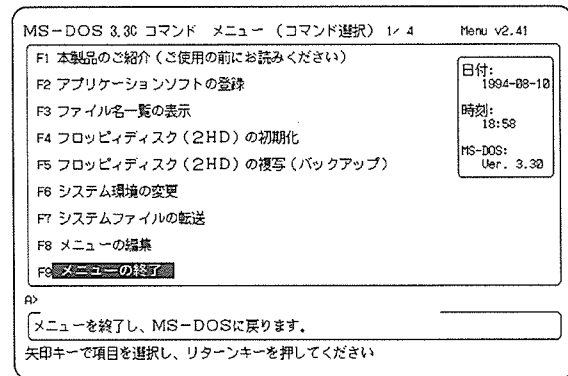
- ①ドライブAにMS-DOSシステムディスク#1を挿入し、パソコンを起動してください。



MS-DOSのインストールコマンドの画面が表示されますので、**ESC** キーを押してこれを中止します。

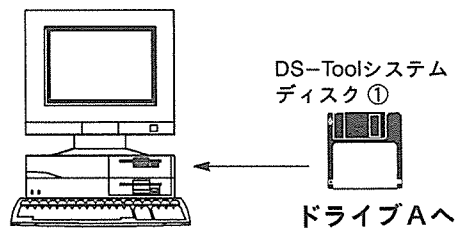


次にコマンドメニュー画面が表示されますので、**↑** **↓** キーで「F9 メニューの終了」を選択し、**Enter** キーを押してコマンドメニューを終了します。



- ②まず実行ディスクのNo.1を作成します。画面に「A>」のMS-DOSプロンプトが表示されるのを確認してから、現在ドライブAに入っているMS-DOSシステムディスク#1をDS-Toolのシステムディスク①に交換し、「installf」と入力して**Enter**を押してください。

```
A>installf
```



注意

I.O.P.30シリーズ用(システムディスク②)の実行ディスクを作成する場合は、システムディスク②をご使用ください。

準備

実行ディスク
の作成方法

データディスク
の作成方法

DS-Toolの
起動方法

2章

フロッピー
ディスクで使用
する場合

準備

実行ディスク
の作成方法

データディスク
の作成方法

DS-Toolの
起動方法

形式獨特のMS-DOSで実行DS-Tool

- ③インストールメニューが表示されますので、「1. 実行ディスク」を選択してください。

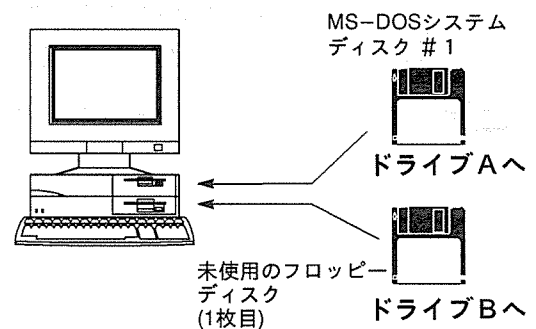
(  キーと  キーで選択します。)

作成するディスクを選択してください。

1. 実行ディスク
2. データディスク
3. 作成しない(終了)

- ④右のメッセージが表示されますので、現在、ドライブAに入っているDS-Toolのシステムディスク①をMS-DOSのシステムディスク#1に交換し、ドライブBに1枚目の未使用のフロッピーディスクを挿入してください。準備ができたなら任意のキーを押してください。

フロッピーのフォーマットおよびシステムの転送をおこないます。
ドライブAにMS-DOSのシステムディスク#1をいれてください。
実行ディスク1を作成します。
ドライブBに新しいディスクを入れてください。
準備ができたなら何かのキーを押してください。



- ⑤未使用のフロッピーディスク(ドライブB)のフォーマット(初期化)が始まります。画面表示は右のようになりますので、そのまま、しばらくお待ちください。

フォーマット中です... 残り 40 トラックです
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (%)

⑥未使用のフロッピーディスクのフォーマット（初期化）が終了すると、表示は右のようになります。現在ドライブAに入っているMS-DOSシステムディスク#1をDS-Toolのシステムディスク①に交換して、任意のキーを押してください。

注意

I.O.P.30シリーズ用（システムディスク②）の実行ディスクを作成する場合は、システムディスク②をご使用ください。

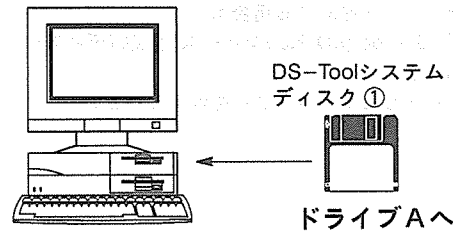
AドライブにDS-Toolディスク1を入れてください。
準備ができたら何かのキーを押してください。

準備

実行ディスク
の作成方法

データディスク
の作成方法

DS-Toolの
起動方法



⑦DS-Toolのシステムディスク①から未使用のフロッピーディスクに、DS-Toolのシステムのコピーが開始されます。画面表示は右のようになりますので、そのまま、しばらくお待ちください。

コピー中です。

```
ds01.exe --> B:¥
ds01s.exe --> B:¥
ds01.opn --> B:¥
```

⑧コピーが終了すると、画面表示は右のようになります。次に使用する日本語FEPの指定を行います。使用する日本語FEP（フロント・エンド・プロセッサ）を、 キーと キーで選択してください。

使用する日本語FEPを選択して下さい。

- 1. NEODIC**
- 2. ATOK7
- 3. ATOK7S
- 0. 組み込まない

2章

フロッピーディスクで使用する場合

準備

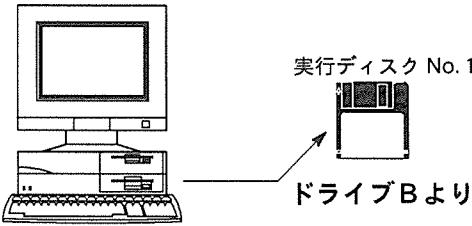
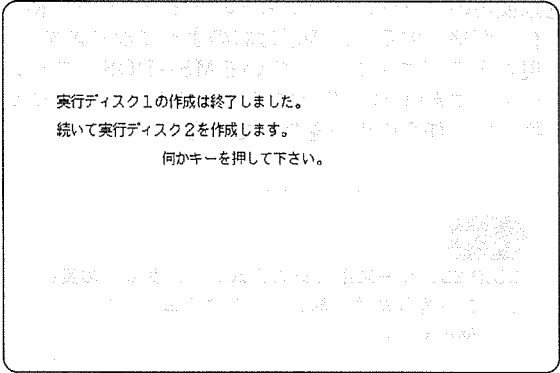
実行ディスクの作成方法

データディスクの作成方法

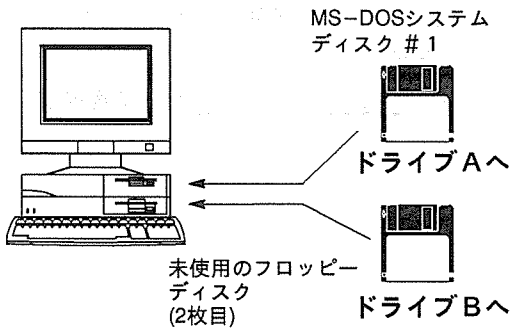
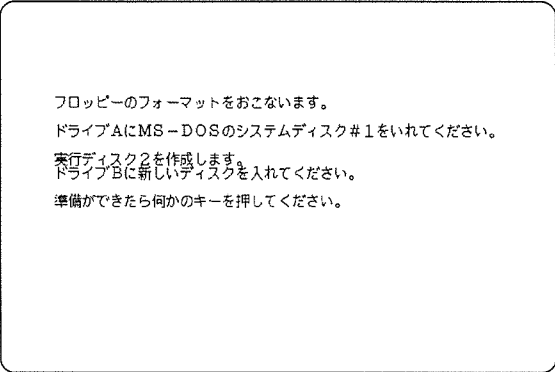
DS-Toolの起動方法

⑨以上で、実行ディスクNo.1の作成は終了です。右のメッセージが表示されますので、ドライブBのフロッピーディスクをとり出し、任意のキーを押してください。ドライブBから取り出した、フロッピーディスクには、「DS-Tool(I.O.P.01シリーズ用)実行ディスクNo.1」と記入したラベルを貼り付けてください。

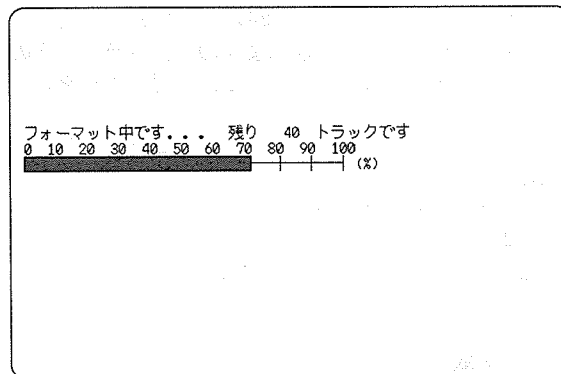
注意
I.O.P.30シリーズ用（システムディスク②）の実行ディスクを作成する場合は、「DS-Tool(I.O.P.30シリーズ用)実行ディスクNo.1」と記入したラベルを貼り付けてください。



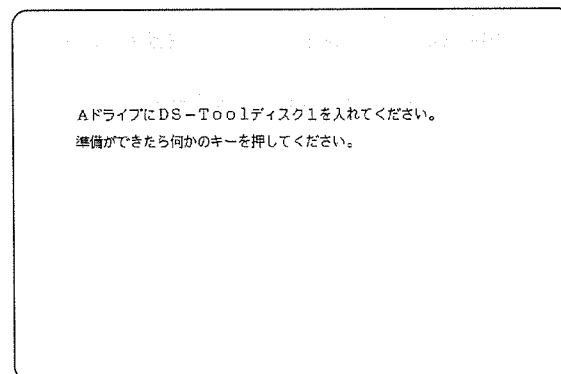
⑩次に実行ディスクNo.2を作成します。右のメッセージが表示されますので、ドライブAのDS-Toolのシステムディスク①を取り出し、代わりにMS-DOSのシステムディスク#1を挿入してください。ドライブBに2枚目の未使用のフロッピーディスクを挿入して、任意のキーを押してください。



⑪2枚目の未使用のフロッピーディスク（ドライブ B）のフォーマット（初期化）が開始されます。画面表示は右のようになりますので、そのまま、しばらくお待ちください。

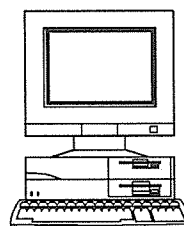


⑫未使用のフロッピーディスクのフォーマット（初期化）が終了すると、表示は右のようになります。現在ドライブ A に入っている MS-DOS システムディスク #1 を DS-Tool のシステムディスク ① に交換して、任意のキーを押してください。



注意

I.O.P.30シリーズ用（システムディスク②）の実行ディスクを作成する場合は、システムディスク②をご使用ください。

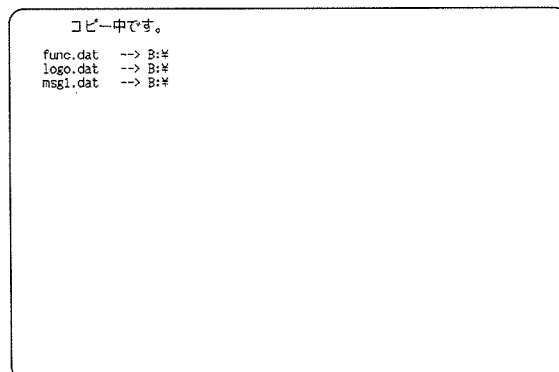


DS-Toolシステム
ディスク ①



ドライブ A へ

⑬DS-Toolのシステムディスク②から未使用のフロッピーディスクに、DS-Toolのシステムのコピーが開始されます。画面表示は右のようになりますので、そのまま、しばらくお待ちください。



準備

実行ディスク
の作成方法

データディスク
の作成方法

DS-Toolの
起動方法

2章

フロッピー
ディスクで使用
する場合

準備

実行ディスク
の作成方法

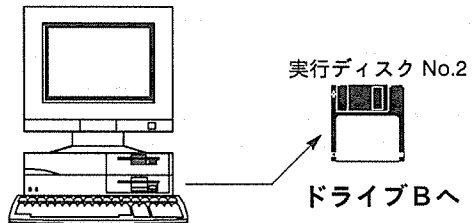
データディスク
の作成方法

DS-Toolの
起動方法

- ⑭以上で、実行ディスクNo.2の作成は終了です。
右のメッセージが表示されますので、ドライブBの
フロッピーディスクをとり出し、任意のキーを押し
てください。
ドライブBから取り出した、フロッピーディスクに
は、
「DS-Tool(I.O.P.01シリーズ用)実行ディスク
No.2」
と記入したラベルを貼り付けてください。

注意

I.O.P.30シリーズ用(システムディスク②)の実行
ディスクを作成する場合は、
「DS-Tool(I.O.P.30シリーズ用)実行ディスク
No.2」
と記入したラベルを貼り付けてください。



- ⑮以上で実行ディスクNo.1, No.2の作成は終了です。
画面の表示は右のようになります。
続いてデータディスクを作成しますので「2. デー
タディスク」を選択してください。
(キーと キーで選択できます。)
29ページの②へ続きます。

作成するディスクを選択してください。

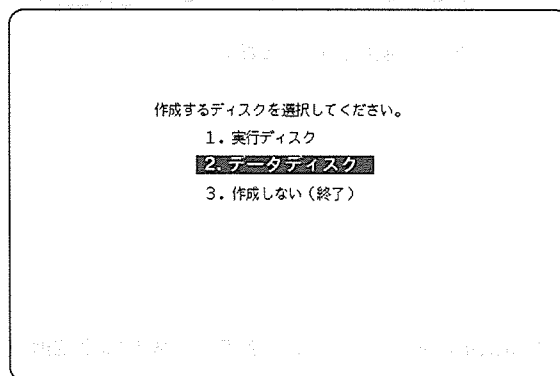
1. **実行ディスク**
2. データディスク
3. 作成しない(終了)

2-3 データディスクの作成方法

フロッピーディスクで使用する場合

続いて、DS-Toolで作成した画面データを保存するためのデータディスクを作成します。このデータディスクには、日本語入力の際に必要となる日本語FEP（フロント・エンド・プロセッサ）のシステムもコピーします。

- ①インストールメニューから、「2. データディスク」を選択してください。（↓↑キーと←キーで選択できます。）



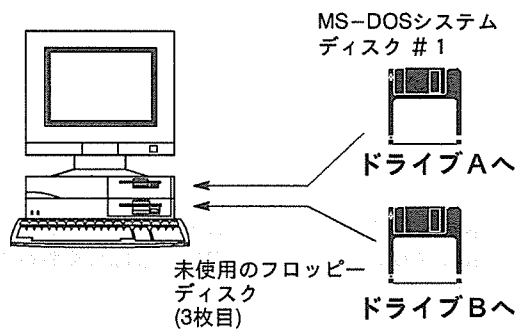
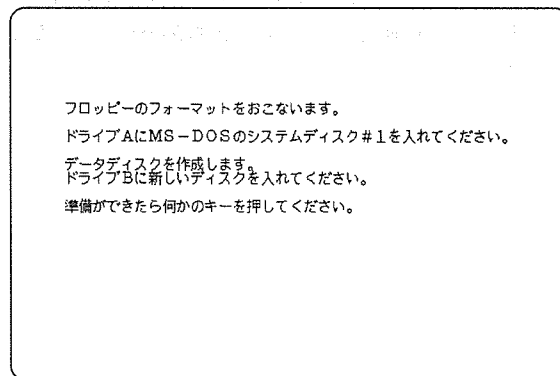
準備

実行ディスクの作成方法

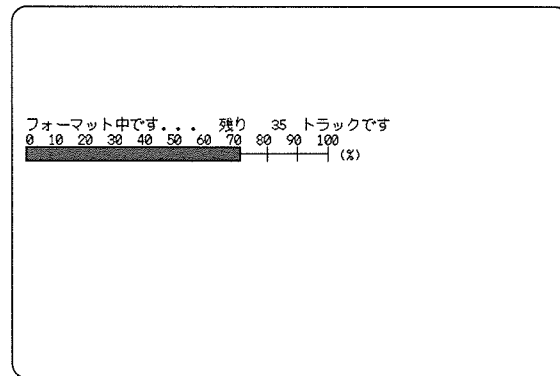
データディスクの作成方法

DS-Toolの起動方法

- ②右のメッセージが表示されますので、ドライブAにMS-DOSのシステムディスク#1を、ドライブBに3枚目の未使用のフロッピーディスクを挿入してから、任意のキーを押してください。



- ③未使用のフロッピーディスク（ドライブB）のフォーマット（初期化）が開始されます。画面表示は右のようになりますので、そのまま、しばらくお待ちください。



2章

NEC PC-9800シリーズの日本語FEPのインストール

フロッピーディスクで使用する場合




準備

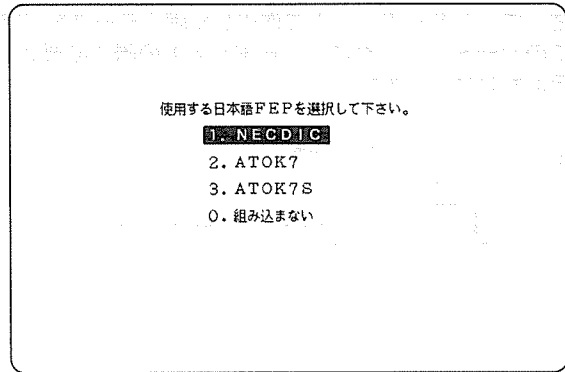
実行ディスクの作成方法

データディスクの作成方法

DS-Toolの起動方法

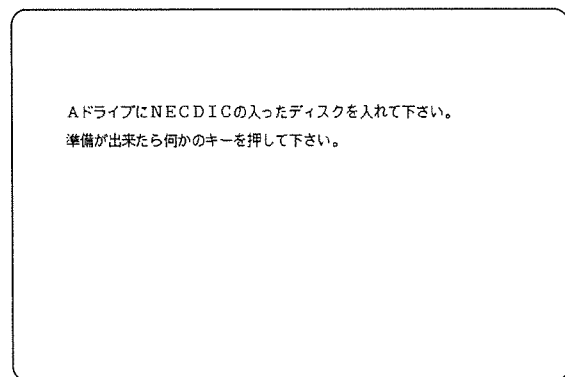
④3枚目の未使用のフロッピーディスク（ドライブB）のフォーマット（初期化）が終了すると、画面表示は右のようになります。

使用する日本語FEPのシステムを、  キーと  キーで選択してください。

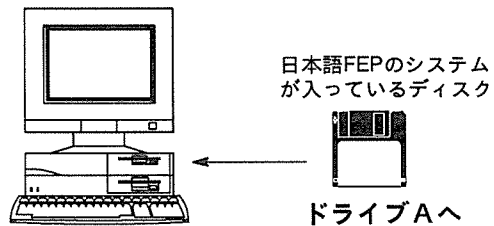


⑤画面表示は右のようになります（NECDICを選択した場合）。

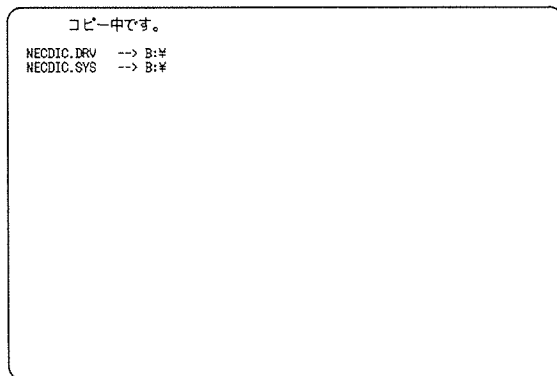
ドライブAのMS-DOSのシステムディスク#1を取り出し、代わりに④で選択した日本語FEPが入ったディスクを挿入してから、任意のキーを押してください。



(NECDICシステムを選択した場合の画面)



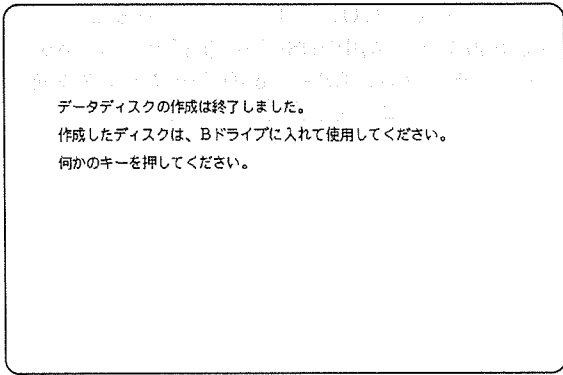
⑥日本語FEPのシステムのコピーが開始されます。表示は右のようになりますので、しばらくお待ちください。



(NECDICシステムを選択した場合の画面)

- ⑦日本語 F E P のかな漢字変換ドライバと辞書ファイルがコピーされ、DS-Toolのデータディスクの作成が終了します。表示は右のようになりますので、フロッピーディスクを取り出して、任意のキーを押してください。
ドライブBから取り出したフロッピーディスクには、他のディスクと間違わないようラベルを貼り付けてください。

ラベル記述例：DS-Toolデータディスク

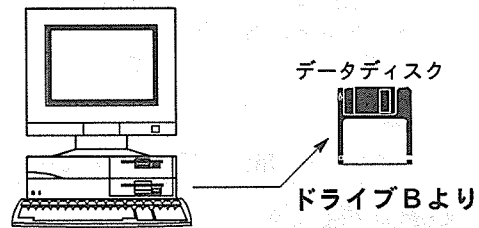


準備

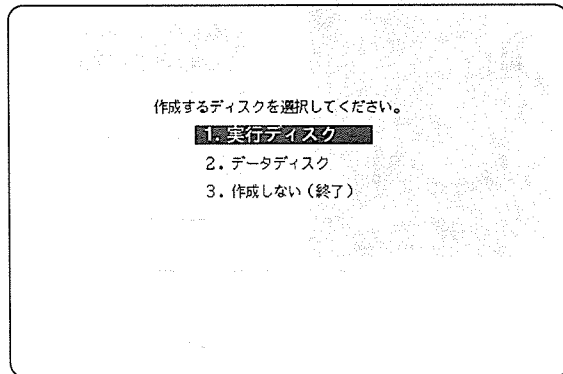
実行ディスク
の作成方法

データディスク
の作成方法

DS-Toolの
起動方法



- ⑧以上でデータディスクの作成は終了です。画面の表示は右のようになりますので、インストールメニューを終了する場合は、「3.作成しない(終了)」を キーと キーで選択してください。



2章

2-4 DS-Toolの起動方法

フロッピーディスクで使用する場合

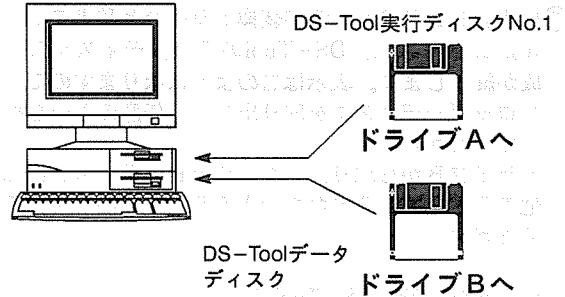
準備

実行ディスクの作成方法

データディスクの作成方法

DS-Toolの起動方法

- ①ドライブAにI.O.P.01シリーズ用もしくは、I.O.P.30シリーズ用のDS-Tool実行ディスクNo.1を、ドライブBにDS-Toolのデータディスクを挿入して、パソコンを起動してください。



- ②DS-Toolの起動メニューが表示されます。初めてDS-Toolを起動した場合は、必ず「新規ファイルの作成」を選択してください。

(キーと キーで選択します。)

(I.O.P.01シリーズ用実行ディスクの場合)

(I.O.P.30シリーズ用実行ディスクの場合)

- ③システム制御設定の画面が表示されますので、各項目を入力してから キーを押して登録してください。

(I.O.P.01シリーズ用実行ディスクの場合)

システム制御設定	ファイル名
データドライブ [B:]]
外字ドライブ [R:]]
作業ドライブ [A:]]
画面モード [カラー] 白黒]	
入力モード [松下 三菱 オムロン] [C.C.U.]	
通信設定 [9600] 19200] bps	
プリンター機種 [ESC/P PR201] [使用 未使用]	
画面設定 [10x4] 10x3 8x3]	

カーソルキーで選択して下さい。

1 登録 2 3 4 5 6 7 8 9 10

(I.O.P.30シリーズ用実行ディスクの場合)

システム制御設定	ファイル名
データドライブ [B:]]
外字ドライブ [R:]]
作業ドライブ [A:]]
画面モード [カラー] 白黒]	
入力モード [松下 三菱 オムロン 日立 パナダック 東芝(T)] [C.C.U.] [E→I/O]	
プリンター機種 [ESC/P PR201] [使用 未使用]	

カーソルキーで選択して下さい。

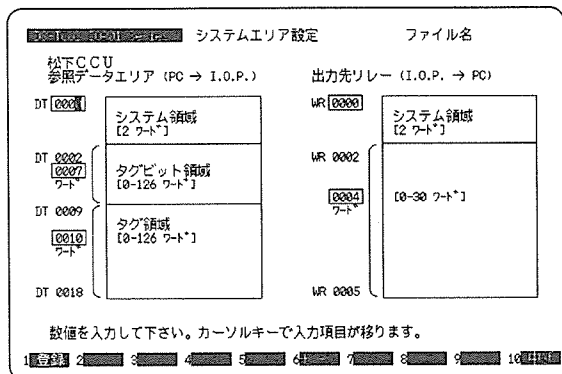
1 登録 2 3 4 5 6 7 8 9 10

(詳しい設定方法については、それぞれに対応した操作マニュアルをご参照ください)

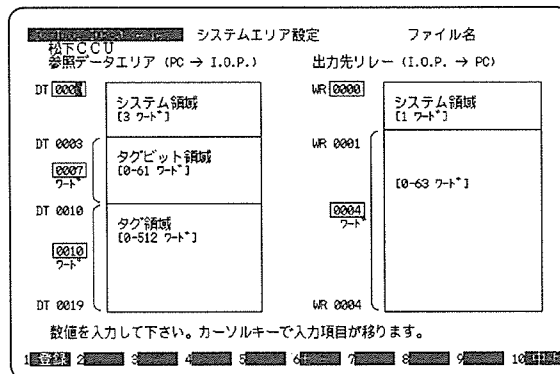
- ④確認のメッセージが表示されますので、「Yes」を選択してください。

⑤システムエリア設定の画面が表示されますので、各項目を入力してから **F1** キーを押して登録してください。

(I.O.P.01シリーズ用実行ディスクの場合)



(I.O.P.30シリーズ用実行ディスクの場合)



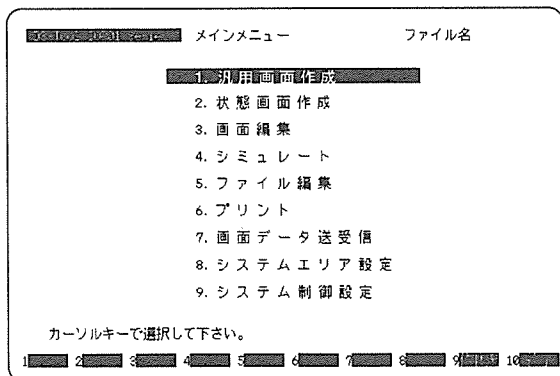
(詳しい設定方法については、それぞれに対応した操作マニュアルをご参照ください)

⑥確認のメッセージが表示されますので、「Yes」を選択してください。

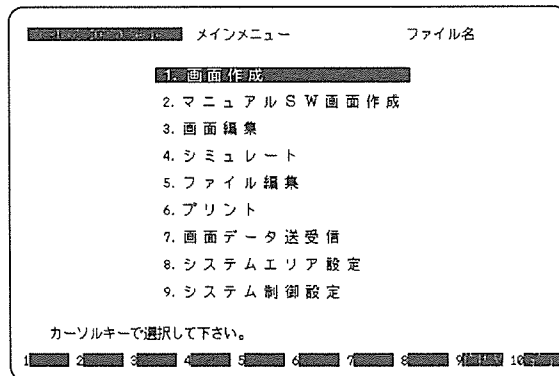
登録してもよろしいですか? **Yes** No

⑦DS-Toolのメインメニューが表示されます。

(I.O.P.01シリーズ用実行ディスクの場合)



(I.O.P.30シリーズ用実行ディスクの場合)



注意

・実行ディスクNo.2は、DS-Tool使用中に実行ディスクNo.1と交換して使用します。

準備

実行ディスク
の作成方法

データディスク
の作成方法

DS-Toolの
起動方法

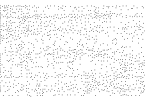


日本数史学会
創立三十周年
記念号

巻名

本号の特長
最新号

編集者
編集委員



本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」
と「**②**」の欄を設け、**③**の欄に、本号の
編集方針を記す。

(本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」)

本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」
と「**②**」の欄を設け、**③**の欄に、本号の
編集方針を記す。

(本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」)

本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」
と「**②**」の欄を設け、**③**の欄に、本号の
編集方針を記す。

(本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」)

本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」
と「**②**」の欄を設け、**③**の欄に、本号の
編集方針を記す。

(本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」)

本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」
と「**②**」の欄を設け、**③**の欄に、本号の
編集方針を記す。

(本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」)

本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」
と「**②**」の欄を設け、**③**の欄に、本号の
編集方針を記す。

(本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」)

本号の特長を更に高めるために、本号に「**①**」
と「**②**」の欄を設け、**③**の欄に、本号の
編集方針を記す。

3章

資料

商品ディスク
の内容

CONFIG.SYSと
AUTOEXEC.BAT

Q&Aインスト
ール時のトラブル

1. 商品ディスクの内容 36

2. CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATについて . 37

3. Q&A インストール時のトラブル ... 38

本商品のDS-Tool(IOP01-30Series)システムディスクNo.1およびNo.2の内容は、以下のとおりです。インストールプログラムを使用せずに、本商品を導入される際に参考にしてください。

商品ディスクの内容

CONFIG.SYSと
AUTOEXEC.BAT

Q&Aインストー
ル時のトラブル

■システムディスク①の内容

DS01 .VER
 DSTOOL .LZH 圧縮ファイル
 INSTALLF .EXE 実行ディスク作成用
 プログラム
 LHA .DOC
 LHA .EXE
 OK .EXE バッチファイルの実行に
 必要です
 INSTALLH .BAT ハードディスクへのインス
 トール用バッチファイル

●圧縮ファイルDSTOOL.LZHの内容

DSTL .EXE
 DS01 .EXE
 DS01S .EXE
 PRND01 .EXE
 DS01 .OPN
 DSTOOL .OPN
 FUNC .DAT
 LOGO .DAT
 MSG1 .DAT
 MSG2 .DAT
 MSG3 .DAT
 MSG3I .DAT
 TITLE .DAT
 KOTEI .DAT
 CONFIG .NEC
 CONFIG .AT6
 CONFIG .AT7
 CONFIG .A7S
 CONFIG .NON
 PRNS01 .EXE
 SNDD01 .EXE

いずれかが実行ディスク
のCONFIG.SYSになり
ます

■システムディスク②の内容

CONFIG A7S
 CONFIG AT6
 CONFIG AT7
 CONFIG NEC
 CONFIG NON
 DS30 EXE
 DS30 OPN
 DS30 VER
 DS30S EXE
 FUNC_3 DAT
 INSTALLF EXE 実行ディスク作成用
 プログラム
 LOGO_3 DAT
 MSG1_3 DAT
 MSG2_3 DAT
 MSG3I_3 DAT
 MSG3_3 DAT
 OK EXE バッチファイルの実行に
 必要です
 PRNOUT EXE
 PRNST EXE
 SEND EXE
 TITLE_3 DAT
 INSTALLH BAT ハードディスクへのインス
 トール用バッチファイル

いずれかが実行ディスクの
CONFIG.SYSになります

参考

INSTALLH.BAT(インストールプログラム)を使用せずに、ハードディスクにインストールする方法(圧縮ファイルDSTOOL.LZHの手動での解凍方法)

まず、MS-DOSのコピーコマンドなどを使用して、DS-Toolのシステムディスク①の内容を、ハードディスクにコピーします。

システムディスクの内容は、圧縮ファイルDSTOOL.LZHの中に圧縮されていますので、これを以下の手順で解凍してください。

仮にハードディスクをドライブA、コピー先のディレクトリを¥DSTOOLしますと、解凍方法は、

```
A>CD ¥DSTOOL
A>LHA e DSTOOL.LZH
```

となります。

解凍作業が終了しましたら、同じディレクトリ¥DSTOOLに、DS-Toolシステムディスク②の内容をコピーしてください。

3-2 CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATについて 3章

資料

2章で作成した実行ディスクのCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容は、以下のとおりです。

■CONFIG.SYSの内容

CONFIG.SYSは、MS-DOSの起動時の動作環境を設定するファイルです。2章で作成した実行ディスクのCONFIG.SYSでは、主に日本語入力システムのデバイスドライバの組込みおよび辞書のパス指定を行います。

●インストール時に日本語FEPを「組み込まない」に設定した場合

```
>type config.sys
BUFFERS = 20
FILES   = 15
```

●インストール時に日本語FEPを「NECDIC」に設定した場合

```
>type config.sys
BUFFERS = 20
FILES   = 15
DEVICE = B:¥NECDIC.DRV B:
```

●インストール時に日本語FEPを「ATOK6」に設定した場合

```
>type config.sys
BUFFERS = 20
FILES   = 15
DEVICE = B:¥ATOK6A.SYS /D=B:¥ATOK.DIC
DEVICE = B:¥ATOK6B.SYS
```

●インストール時に日本語FEPを「ATOK7」に設定した場合

```
>type config.sys
BUFFERS = 20
FILES   = 15
DEVICE = B:¥ATOK7A.SYS /D=B:¥ATOK7.DIC
DEVICE = B:¥ATOK7B.SYS
```

●インストール時に日本語FEPを「ATOK7S」に設定した場合

```
>type config.sys
BUFFERS = 20
FILES   = 15
DEVICE = B:¥ATOK7AS.SYS /
        D=B:¥ATOK7S.DIC
DEVICE = B:¥ATOK7BS.SYS
```

■AUTOEXEC.BATの内容

AUTOEXEC.BATは、パソコンが起動した時に自動的に実行されるバッチファイルです。2章で作成した実行ディスクのAUTOEXEC.BATでは、「DS01」または「DS30」のコマンドを自動的に実行します。

●DS-Tool(IOP01Series)実行ディスクの場合

```
>type autoexec.bat
DS01
```

●DS-Tool(IOP30Series)実行ディスクの場合

```
>type autoexec.bat
DS30
```

商品ディスクの内容

CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BAT

Q&Aインストール時のトラブル

Q MS-DOSのプロンプト「A>」が表示されない。

A ハードディスクにインストールする場合は、起動されているメニューやアプリケーションを終了させてください。また、MS-Windowsが起動される場合は、プログラムマネージャを操作してMS-Windowsを終了させてください。
フロッピーディスクで使用する場合は、MS-DOSのシステムディスクでMS-DOSを起動します。MS-DOSのシステムディスクを起動した時に、DOSインストールコマンドやMS-DOSメニューが表示される場合は、それらを終了してください。

Q MS-WindowsのMS-DOS画面からハードディスクにDS-Toolをインストールすることはできますか。

A MS-Windowsが起動される場合は、必ずMS-Windowsを終了させてから、DS-Toolをインストールしてください。

Q MS-DOSの画面で、日付、時刻を尋ねてきた。

A ●日付の確認は以下のように表示されます。

現在の日付は 1995-03-19 (日) です。
日付を入力してください(年-月-日):■

間違った日付が表示された場合は、「1995-04-22」のように「-」で区切って日付を入力し、を入力してください。正しい日付が表示された場合は、だけを入力してください。

●時刻の確認は以下のように表示されます。

現在の時刻は 15:08:07.00 です。
時刻を入力してください:

間違った時刻が表示された場合は、「17:33:02」のように「:」で区切って時刻を入力し、を入力してください。正しい時刻が表示された場合は、だけを入力してください。

Q 実行ディスク作成時に、フロッピーディスクにコピーができない。

A 未使用フロッピーディスクの「書き込み禁止」を解除してください。

Q 日本語変換ができない。

A ハードディスクで使用する場合は、DS-Toolを起動する前のMS-DOSのプロンプト(A>)で日本語入力ができるかどうか確認してください。必ず日本語入力システムを組み込んでから、DS-Toolを起動してください。
フロッピーディスクで使用する場合は、実行ディスクのCONFIG.SYSファイルの内容をチェックし、日本語入力システムのデバイスドライバの登録と辞書のパス指定が正しく行われているか確認してください。また、データディスクに、必要なデバイスドライバファイルと辞書ファイルがコピーされているかどうか確認してください。

改訂履歴

*マニュアル番号は、表紙下に記載されています。

発行日付	マニュアル番号	改訂内容
1995年 8月	FAF-215	初版
1997年 4月	FAF-215①	2版

ご注文に際してのお願い

本資料に記載された製品および仕様は、製品の改良などのために予告なしに変更（仕様変更、製造中止を含む）することがありますので、記載の製品のご使用のご検討やご注文に際しては、本資料に記載された情報が最新のものであることを、必要に応じ当社窓口までお問い合わせのうえ、ご確認くださいませようお願いします。

なお、本資料に記載された仕様や条件・環境の範囲を超えて使用される可能性のある場合、または記載のない条件や環境での使用、あるいは鉄道・航空・医療用などの安全機器や制御システムなど、特に高信頼性が要求される用途への使用をご検討の場合は、当社窓口へご相談いただき、仕様書の取り交わしをお願いします。

受入検査]

●ご購入または納入品につきましては、速やかに受入検査を行っていただくとともに、本製品の受入検査前または検査中の扱いにつきましては、管理保全に十分なご配慮をお願いします。

保証期間]

●本製品の保証期間は、ご購入後あるいは貴社のご指定場所への納入後1年間とさせていただきます。
なお、電池や光源ランプなどの消耗品、補材については、除かせていただきます。

保証範囲]

●万一、保証期間中に本製品に当社側の責による故障や瑕疵が明らかになった場合、当社は代替品または必要な交換部品の提供、または瑕疵部分の交換、修理を、本製品のご購入あるいは納入場所で、無償で速やかに行わせていただきます。ただし、故障や瑕疵が次の項目に該当する場合は、この保証の対象範囲から除かせていただくものとします。

1. 貴社側が指示した仕様、規格、取扱い方法などに起因する場合。
2. ご購入後あるいは納入後に行われた当社側が係わっていない構造、性能、仕様などの改変が原因の場合。
3. ご購入あるいは契約時に実用化されていた技術では予見することが不可能な現象に起因する場合。
4. カタログや仕様書に記載されている条件・環境の範囲を逸脱して使用された場合。
5. 本製品を貴社の機器に組み込んで使用される際、貴社の機器が業界の通念上備えられている機能、構造などを持っていれば回避できた損害の場合。
6. 天災や不可抗力に起因する場合。

また、ここでいう保証は、ご購入または納入された本製品単体の保証に限るもので、本製品の故障や瑕疵から誘発される損害は除外させていただきます。

以上の内容は、日本国内での取り引きおよび使用を前提とします。

日本以外での取引および使用に関し、仕様、保証、サービスなどについてのご要望、ご質問は当社窓口まで別途ご相談ください。

●このマニュアルに使われている用紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しております。
●この印刷物は環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



大豆油を主成分としたインキで印刷しています

●在庫・納期・価格など販売に関するお問い合わせは

●技術に関するお問い合わせは

制御機器コールセンター

☎ 0120-101-550

※お問い合わせ商品 / リレー・機器用センサ・スイッチ・コネクタ・
プログラマブルコントローラ・プログラマブル表示器・
画像処理装置・タイマ・カウンタ・温度調節器

※サービス時間 / 9:00-17:00 (11:30-13:00、当社休業日除く)

●FAX 06-6904-1573 (24時間受付)

松下電工株式会社 制御機器本部
制御デバイス事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

TEL.(06)6908-1131<大代表>

©Matsushita Electric Works, Ltd. 2006

本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このマニュアルの記載内容は平成9年4月現在のものです。